

鈴鹿市立飯野小学校 令和7年度 学校経営の改革方針

記述項目	記述内容
1めざす 学校像	すべての子どもたちに居場所をつくり、生きる意欲を育む ～ 知の教育・愛の教育・命の教育・根っこの教育を通して ～
2経営方針	重点1 確かな学力の定着(知の教育) 重点2 人権教育・特別支援教育・心の教育の充実(愛の教育) 重点3 体力向上・健康・安全(命の教育) 重点4 基本的生活習慣の確立(根っこの教育) 重点5 保護者・地域との連携強化(地域とともにある学校) 重点6 教職員の指導力の向上(授業力の向上)及び業務に対する意識の改善
3達成方策	重点1 確かな学力の定着(知の教育) ① 基礎・基本の定着とICTを活用した主体的・協働的な授業の展開 (自分の思ったことや考えたことを進んで書いたり、発表したりする:75%以上) (勉強が分かる:80%以上) ② 「よむYOMUワークシート」等を活用した学習(全国学調:全国比100%以上) ③ 「授業力UP5★」を意識した授業の推進 ④ 家庭学習の充実(家庭学習10～15分×学年:保護者評価80%以上) ⑤ 読書習慣と読書力の定着(読書に進んで取り組んでいる:80%以上) ⑥ 学習ボランティアの活用と支援内容の充実 ⑦ 出前授業・校外学習等の外部人材の活用(各学年1回以上) 重点2 人権教育・特別支援教育・心の教育の充実(愛の教育) ① 一人ひとりの自己肯定感(非認知能力)を涵養するための仲間づくり (自分にはよいところがある:85%以上) 人権学習の取組、道徳の実践研究 ② いじめ等の問題行動への迅速かつ適切な対応 ③ 不登校傾向児童への初期対応、保護者(家庭)を含めた支援の充実 ④ 特別に支援が必要な児童の個別的教育支援計画等の作成(100%) ⑤ 児童の発達や養育の課題等について、関係機関と連携した支援会議等の開催 ⑥ 外国籍児童への個に応じた日本語指導 重点3 体力向上・健康・安全(命の教育) ① 体力向上をめざす活動の推進(全学年体力テスト実施) ② 自他の命を尊重する「命の教育」を計画的に実施 交通安全教室、防災・引き渡し・不審者対応訓練、防犯教室、ネットトラブル防止教室 ③ 食育の授業及び食物アレルギー対応研修の実施 重点4 基本的生活習慣の確立(根っこの教育) ① 基本的生活習慣(非認知能力)の定着 (テレビやゲームやスマホの時間を決める:80%以上) ② 安心して、生き生きとした生活が送れる学校づくり(学校が楽しい:90%以上) ③ 規範意識(非認知能力)の定着(チャイムを守って行動する:90%以上) 重点5 保護者・地域との連携強化(地域とともにある学校) ① 飯野小学校運営協議会の充実と創徳中学校区拡大大学校運営協議会の実施(計5回) ② 保育所(園)・幼稚園・中学校等と、地域関連施設・団体との連携・交流 ③ 児童(6・12月実施)・保護者(12月)アンケートの実施(分析結果の活用) ④ 飯野教育協議会「すくすくパトロール」の実施(月2回) ⑤ 「学校だより」やホームページを通して家庭や地域に発信 (学校は通信やHPで伝えている:保護者評価95%以上) 重点6 教職員の指導力の向上(授業力の向上)及び業務に対する意識の改善 ① 授業実践及び、改善を継続し、授業力の向上をめざし、積極的な授業公開 ② OJTを通して、授業や学級運営について、気軽に意見が交わらせる職場づくり ③ 学校運営上必要な研修会への積極的な参加 ④ 組織的な生徒指導体制の確立 ⑤ 総勤務時間の縮減 1人当たりの月平均時間外労働30時間以下 年360時間、月45時間を超える時間外労働者の人数0人、定時退校日の退校率95%、 休暇取得平均日数23日以上、60分以内に終了する会議80%以上